事業コンセプト



誘客交流拠点施設整備運営事業

~誘客交流拠点施設と連動したエリアマネジメントの推進~

【南幌町】 2020.5















構想のコンセプト



concept

1.

子育てファミリーをターゲットに 「わざわざ南幌町に遊びに行く」 魅力あふれる施設

・子どもが**「遊び・運動・体験」**できる施設

> 子どもが安全にのびのびと遊べる室内遊戯施設

※画像はイメージです







構想のコンセプト



concept

2.

南幌町の子育ての様子が見え 町内外からの利用者が

共に交流を持てる施設

- 地域コミュニティの中心となるような交流空間に
- ・たくさんの**町民が利用・活用**できる施設・仕組み



利用者にとって憩いの場、集いの場、賑わいの場となる施設

※画像はイメージです







施設の概要



- ① 遊戯エリア(幼児~小学校高学年程度)
- ② 多目的エリア(交流・リラクゼーション)

一体型の複合施設として中央公園に整備する



施設規模: 900 ㎡以上

事業手法: PPP/PFIの一種「DBO方式」を採用

設計 (Design)、建設 (Build)、維持管理・運営 (Operate) それぞれの専門企業から組織された企業グループに対し一括して業務委託する事業方式

DBO(10年間) + エリアマネジメント (3年間)

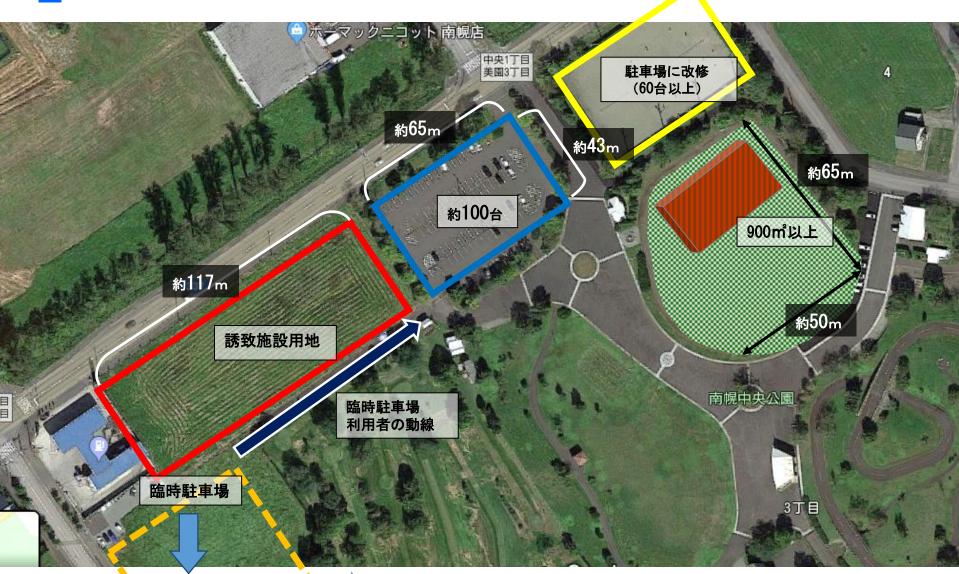
2022年5月のオープンを目指し 2020年5月 公募型プロポーザル



整備用地(中央公園内 多目的広場)



整備予定地 (中央公園内 多目的広場)



オープン当初・イベント時・PG大会等開催時

中央公園との連動



誘客交流拠点施設と中央公園を連動させ 室内・屋外共に楽しめ、利用者にとっての憩いの場、集いの場、 賑わいの場となるようなエリアを目指す。







南幌町の現状と地域課題

①子育て環境の整備





















第2期 子ども子育て支援事業計画に伴うアンケート調査

担当:保健福祉課 健康子育てG

期 間:平成31年1月~2月

対 象:就学前・小学生の保護者

回収数:244件

問 必要だと思う子育て支援策は?

順位	施 設 名	人数	構成比
1	母子保健サービスや小児救急医療の充実	131	15.2%
2	遊び場や機会の充実	123	14.3%
3	経済的支援の充実	110	12.6%
4	事故や犯罪の被害から守る対策の推進	101	11.7%
•	:	:	
合計		859	



第2期 子ども子育て支援事業計画に伴うアンケート調査

問 日頃、遊び場に関して感じていることは?

多かった意見

- ・天気の悪い日、冬場に室内の遊び場が欲しい。
- ・子どもだけで安心して遊べる場がない。
- ・外で遊べる場所が少ない。
- ・公園遊具のメンテナンスをしてほしい。



公園の計画的なメンテナンスと合わせて

南幌町の子どもが、いつでも(雨・冬)安心して遊べる室内の遊び場を…



11



南幌町の現状と地域課題

②人口減少と人口構造











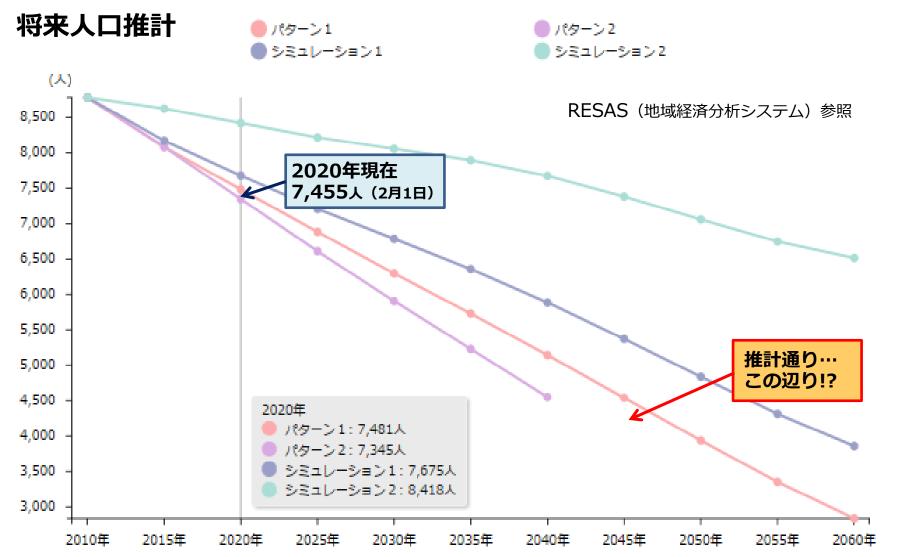






これからの南幌町はどうなる…







問題なのは…

人口減少よりも人口構造



1990年代に5,000人台から1万人まで 人口が急増した本町は、 全道でも他にない異質な人口構造の町





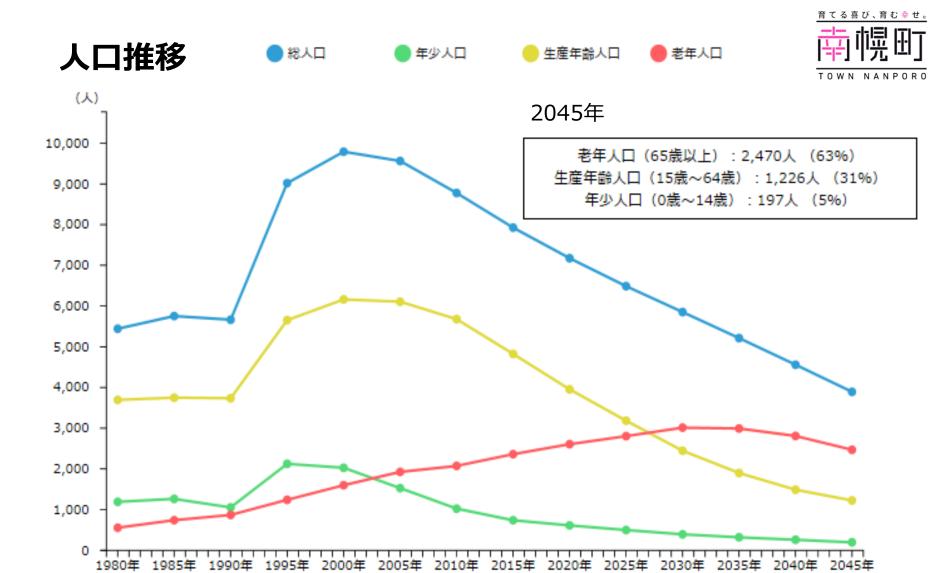












2015年 老年人口(65歳以上): 2,362人(29%) 生産年齢人口(15歳~64歳): 4,825人(60%) 年少人口(0歳~14歳): 739人(9%)





自治体	2019 高齢化率	2040 高齢化率
南幌町	33.1%	63.4%
由仁町	40.8%	54.3%
長沼町	36.6%	53.2%
栗山町	39.8%	52.8%



北海道市町村の高齢化スピード予測 第1位

(2015→2040高齢化率比較)

※地域経済レポート「マルシェノルド」より



10年後·20年後·30年後

の自分と南幌町をイメージして…

自分は何歳か? 子どもは?

その時、まちは…?

自分たちの子どもや孫の世代でも 希望を持ち続けられる南幌町であるために…







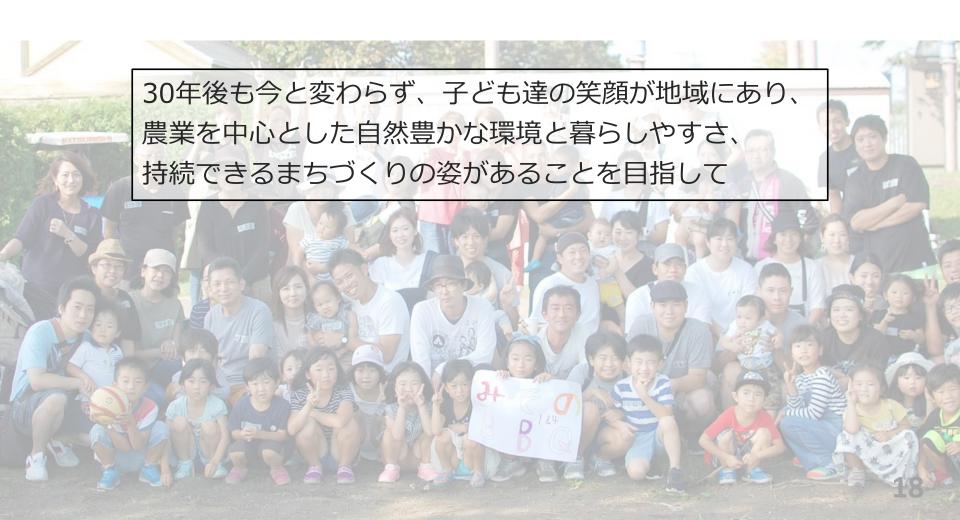




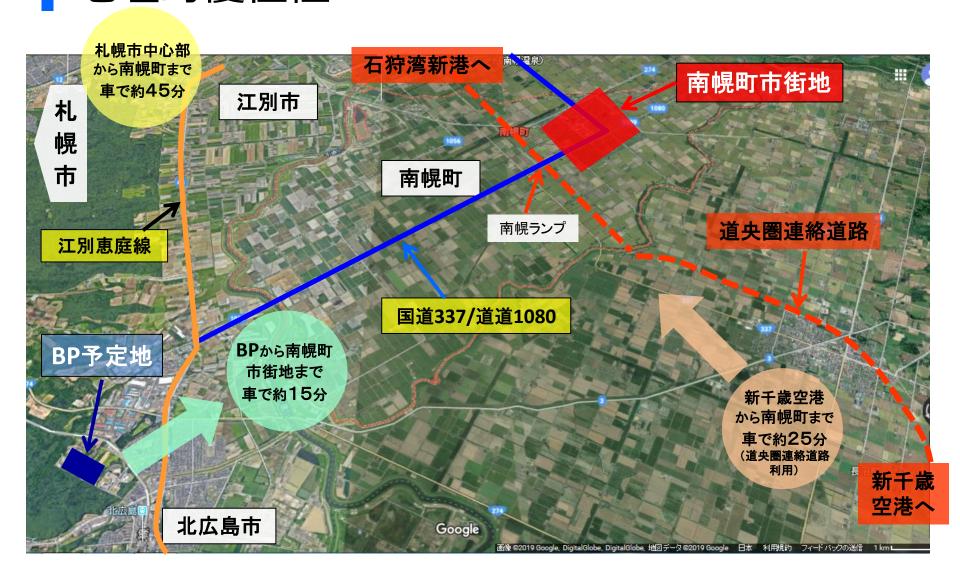


《第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 目指すべき将来のビジョン》

30年後も子ども達といる風景



地理的優位性 道央圏連絡道路開通・北海道ボールパーク (BP) 開業



北海道BP開業、道央圏連絡道路開通で人の流れが変わる

南幌町への移住者の状況



※町外から子育て世代住宅建築助成を利用して移住された世帯数

平成 29 年度 3世帯 / 平成 28 年度 3世帯

平成 30 年度 **16**世帯 令和元年度

19世帯

子育て支援事業 知名度向上 移住促進 きた住まいる 子育て世代 住宅建築助成 ヴィレッジ 町全体で取組んできた一つひとつの取組みの成果

20



南幌町のことは知らなかったけれど…

「きた住まいるヴィレッジ」や「住宅建築助成」を知り 南幌町に足を運んでみて

「札幌からも以外と近い」

「子育てに適した環境が整っている」

「田舎暮らしだけど、住みやすい町」

「なんとなく、雰囲気が…」

自然豊かなところで のびのびと子育てしたい



知ってもらえば 足を運んでもらえば **移住定住に繋がる**

エリアマネジメントとは…



きた住まいるヴィレッジ

「南幌らしいクオリティ・ファーストの暮らしの提案」 をコンセプトとした、新しい形の販売型住宅展示場(2018オープン)



きた住まいるヴィレッジ住宅購入 + このエリアへの移住者が増えている (2018…16世帯、2019…19世帯)



コンセプトをそのままに 注文型住宅として 第2期スタート(2019)



「南幌らしい暮らし」を住民がデザインする

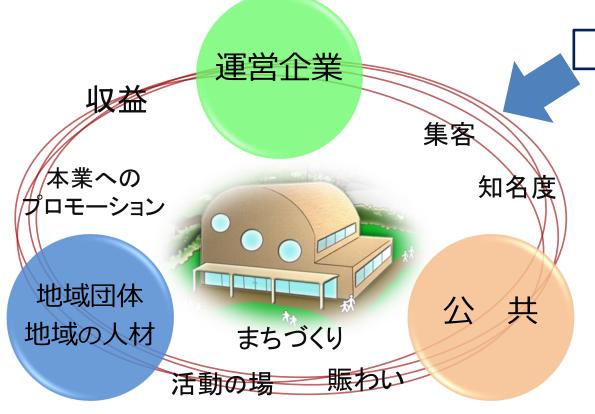
きた住まいる居住者(予定者含む)が参加し開催している「まち並み懇談会」において 第2期居住予定の方から「この地域に住むことで、これから一緒にまちづくりをしていくことが出来る と思いました。それが移住の決め手です…」 > エリアマネジメント構想のヒントに!



エリアマネジメントのイメージ

施設内と施設周辺(中央公園エリア)を活用して、子どもだけではなくたくさんの人達が集い、賑わいが生まれる場を創りだす。行政や施設運営企業だけでなく、町民や町内の団体がフラットな立場で企画・運営に携わることができる体制や、やってみたい人(団体)を受け入れる(場所や設備を提供する)仕組み創りを目指す。

特別なことではなく、南幌町での暮らしを楽しく、豊かにするために、やりたいこと、 やってみたいことを話し合い、少しづつ形にしていく(実践する)イメージ。



住民(移住者)・有識者・学生

【目標】

組織の形成と自走化

(エリアマネジメント協議会・まちづくり会社の設立)



- ・まちづくりコンサル会社による コーディネート
- ・シンポジウムやワークショップ トライアルイベント、 オープニングイベントの開催
- ・地域の人材育成とネットワーク



- ◇ この施設を活用してやってみたいコト、やってほしいコトはありますか? (町民アンケート) ~施設内~
 - ・習い事(教室)やワークショップをやってほしい
 - ・期間限定レンタルスペース(雑貨販売・子ども服販売・ネイルやマッサージ パン・スウィーツ)
 - 季節のイベント (ハロウィンやクリスマス・節分など)

~施設外~

- ・野菜の直売、フリーマーケットやマルシェ
- 夏祭りやナイトフェスなどのイベント
- ・星空観察や屋外映画館など
- ∼農猿~※農家の青年を中心としたまちづくり活動団体
- 野祭の会場として活用したい(音響・屋外電源・ワンタッチテント…)
- ・農業体験(農猿メンバー)の受入れ出発点として



自然と人が集まる誘客交流拠点施設の室内・屋外(公園)の オープンスペースを活用して 誘客交流拠点施設を整備するのが目的ではなく、

施設をまちづくりにどう活かすか!

目指すのは

"人"と"まち"、"公園"を育てる拠点施設!

現在も活動している地域の団体、巧みなスキルを持つ地域の人材、 発想・アイディアはあるけど活動に繋げることが出来ない住民… それらをフラットに繋ぎ、実践していきたい



地域の賑わい ▷ 地域の魅力の向上 ▷ 地域の価値の向上

魅力的な生産者(まちづくり実践者)がつくるまちの様々なコンテンツに消費者が自然と集まる!















スケジュール



中央公園

エリアマネジメント

2019 (H31)

住民 (子育て世代等) ヒアリング

公募 準備

地域団体等への説明会

2020 (R2)

公募型プロポーザル



企業グループと契約

* シンポジウム

*ワークショップ

基本設計

2021 (R3)

実施設計 建設工事 *ワークショップ

* トライアルイベントの 企画・運営

*組織立上げに向けた協議

2022 (R4)

オープン

* オープニングイベントの 企画・運営

*組織の立上げ 自走に向けた協議



30年後も子ども達といる風景を目指し 将来の南幌町に可能性と希望が持てるような まちづくりを進めていきます

